

経営比較分析表（令和6年度決算）

北海道美唄市 市立美唄病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	7	-	透	教 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
18,427	6,501	第2種該当	-	10：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

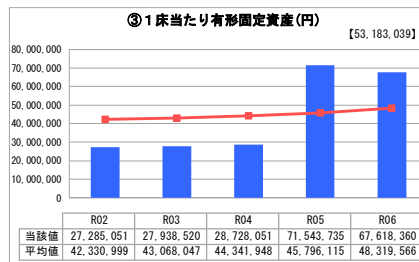
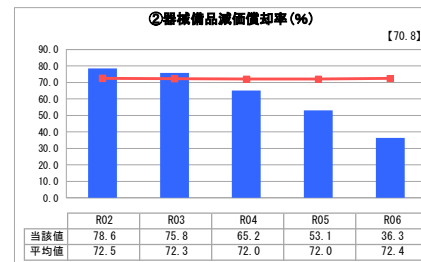
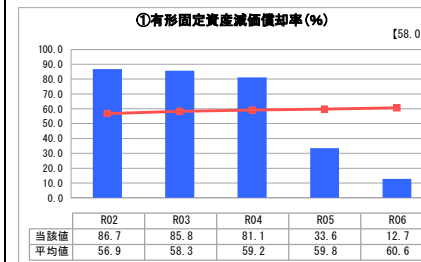
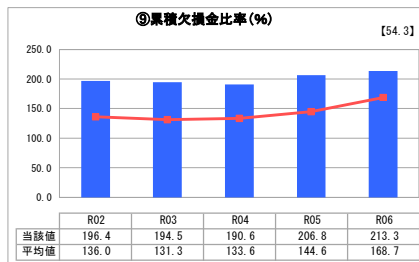
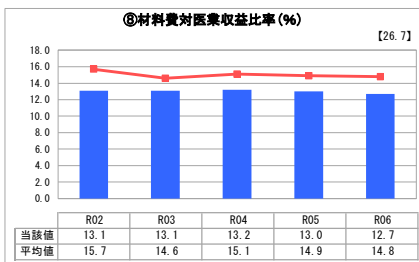
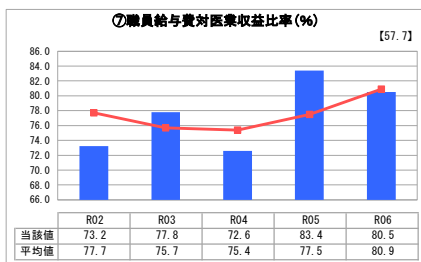
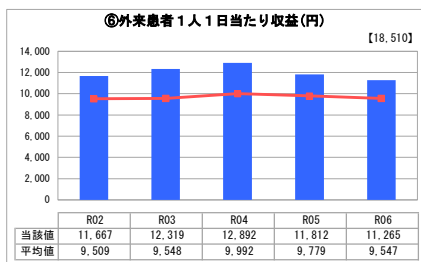
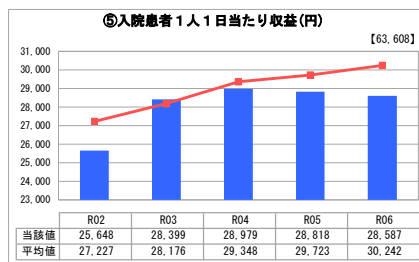
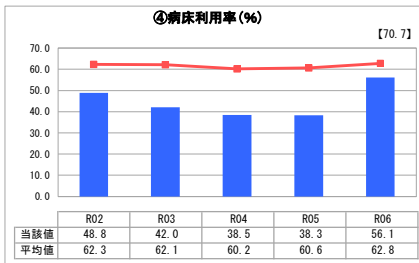
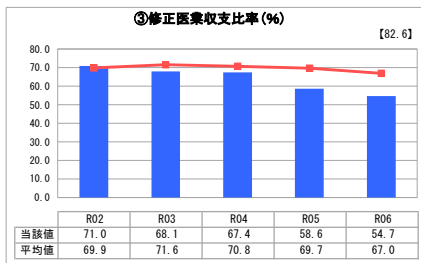
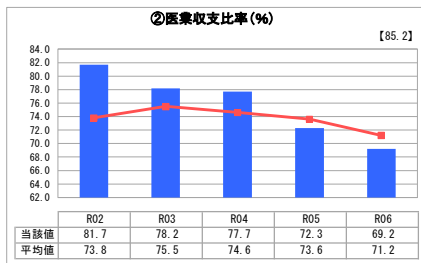
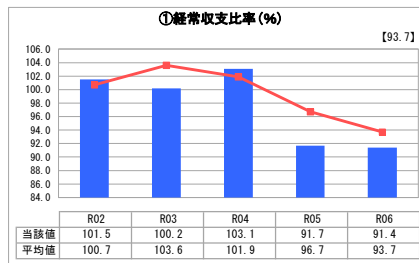
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
43	32	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	75
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
25	23	48

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）

【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の役割・ネットワークを基に)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

当院は市内唯一の救急告示病院として、市民の命を守るとともに、高度医療が必要な場合は、近隣中核病院と連携し、医療提供体制を構築。

また、外来機能は内科、外科、整形外科、眼科、耳鼻科のほか、市内で不足している人工透析や小児科、産婦人科の診療を担い、入院機能では、救急患者の受入に加え、回復期を担う「地域包括ケア病床」や長期療養のための「医療療養病床」を設置するなど、地域に欠かせない医療の役割を担っている。

近年は訪問診療、訪問看護にも力を入れ、入院から在宅まで一貫して支える「地域完結型医療」の拠点として、市民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる体制の構築に努めている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

各収支比率は悪化傾向にあるが、これは物価高騰に伴う光熱水費や診療材料費等の増加、さらに人件費の増大に対し、収益確保が追いついていないことが主因となっている。

入院単価については、入院患者の約半数を療養病床が占める病床構成上の特性に加え、手術件数に寄る外科医師の退職も影響。類似団体平均を下回っている。

一方、外来単価は、透析部門の安定的な運営により、類似団体平均より高値を維持している。

なお、令和6年度以降は医師体制が安定化したことで、患者数の増加とともに収益も回復基調にある。

2. 老朽化の状況について

令和5年度末に新病院の本体工事が完了し、令和6年度には旧院舎の解体撤去が完了したため、段階的に老朽化の状況を図る指数が改善している。

建替えに合わせ、医療機器の大幅な更新も実施したことにより、器械備品の値でも同様に低減した。

今後は医療機器整備計画に基づき、適切な維持管理と計画的な更新整備を行うことで、安全かつ良質な医療提供体制を維持していく。

全体総括

コロナ禍を経て生活様式が変化し、受診控え等による患者数の減少に加え、物価高騰や人件費増により経営状況は厳しい状況にある。

しかし、継続的な医師確保活動により、救急受入体制が強化され、入院、外来ともに患者数は回復傾向にある。

今後は、救急医療の役割を果たすとともに、回復期機能の強化による近隣病院からの転院受入や、訪問看護ステーション化による在宅医療の拡充を推進し、新病院の機能を最大限に活用し、収支改善を進めていく。

※1類似病院平均値(平均値)については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。